

平成24年度 事業計画

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

1. 基本方針について

財団設立23年目を迎え、過去22年間に着手した各事業を受け継ぎ、在宅ケア等に関する事業推進、諸団体に対する助成事業、寝たきり防止対策、及び介護保険・医療保険制度改正に伴った地域包括ケアの推進に関する研究助成を中心として次の事業を行う。併せて、調査・研究事業の分野においても、質、量の両面で向上を図り調査研究の成果を関係諸団体に対し提供し、わが国の在宅ケア推進に寄与するものであります。

また、昨年(平成23年)の11月1日付けで公益財団法人として認定を受け、民による公益事業を推進し、更なる在宅ケアの啓蒙活動と看護と介護の連携を目指した事業の啓発活動を実施してまいります。

2. 公益目的事業について

- (1) 在宅ケアに関する研究及び事業に対する助成事業(研究事業助成事業)(公1)
前年度の研究・事業助成事業内容を基に選考委員会において、本年度の方針を決定いたします。

(平成23年度の研究・事業助成)

A. 研究助成

高齢者の自立支援、在宅重視、リハビリテーション活動に関する研究
在宅医療機器・介護福祉機器に関する研究
訪問看護ステーション及び地域包括ケア・在宅介護支援センターの機能拡大に関する研究
介護保険制度・在宅医療に関する研究
介護予防・ケアマネジメントに関する研究
在宅で生活を支援するサービスの質の向上に関する研究
難病やがん末期の在宅医療・看護・介護支援強化に関する研究
医療機関から在宅医療・看護総合連携と福祉用具等の活用に向けての研究
介護職による医療行為の安全性確保に関する研究
震災における介護に関する研究

B. 事業助成

疾病を持った在宅療養者への医療・看護・介護サービス実施事業
在宅ケア、福祉用具・住宅関連・寝具等開拓・工夫に努めている事業
高齢者や障害者（児）・在宅ケア推進関連事業
介護予防に関する新メニューの展開事業
難病やがん末期の在宅医療・看護・介護支援強化に関する展開事業

（ご参考）平成23年度実績

応募総数：45件 採用件数：11件 助成総額：5,096千円

選考委員会開催の予定

平成24年4月13日【金】

目的：平成24年度の研究・事業助成テーマの検討

平成24年6月15日【金】

目的：研究・事業助成応募者の採用決定

選考委員の構成

業務執行理事（選考担当理事）	星川 光太郎
選考委員	北條 慶一 公立昭和病院 名誉院長
〃	内田 恵美子 (株)日本在宅ケア教育研究所 代表
〃	千野 直一 慶応義塾大学 名誉教授
〃	堀 勝洋 上智大学 名誉教授
〃	丸山 美知子 東邦大学 教授

（2）在宅ケア関連サービスに関する、人的育成を図るための教育研究事業並びにセミナー等を通じた啓蒙活動事業（公2）

- ・在宅ケア推進事業者及び担当者、看護・介護に携わる方々等を対象とする教育研修を開催する。
- ・福祉用具専門相談員指定講習会並びに福祉用具プランナー研修を開催する。

【研修会】 <今年度開催予定>

福祉用具専門相談員講習会

第1回 平成24年 6月 4日（月）～ 9日（土）（東京都内）

第2回 平成24年 11月 12日（月）～ 17日（土）（東京都内）

福祉用具プランナー研修会

- 第1回(前期)平成24年7月19日(木)~21日(土)(都内)
(後期)平成24年8月23日(木)~25日(土)(都内)
第2回(前期)平成24年12月6日(木)~8日(土)(大阪)
(後期)平成25年1月24日(木)~26日(土)(大阪)

【講習会】 <今年度開催予定>

秋季研修会の概要

- 日時 : 平成24年10月27日(土) 午後13時00分~17時30分
場所 : 新宿明治安田生命ホール
テーマ : 「地域の絆を育むホームケアを目指して」
主催 : 公益財団法人フランスベッドメディカルホームケア研究助成財団
共催 : 財団法人日本公衆衛生協会
: 公益社団法人日本看護協会・財団法人日本訪問看護振興財団
: 日本看護連盟・財団法人健康生きがい財団
: 厚生労働省
協賛 : フランスベッド株式会社
式次第 : 代表理事 理事長 挨拶 池田 茂

基調講演【21世紀の社会保障】

東京大学大学院 辻 哲夫

平成23年度の研究事業助成 【震災支援助成発表】

日本看護研究センター 村松静子

シンポジウム

座長 財団会長 多田羅浩三

【パネリスト】

医療関係者 【医療保健福祉専門職のホームケア】

在宅ケア研究者 【24時間の在宅ケア】

看護協会 【地域に於ける看護・介護の世界】

介護関係者 【地域包括支援センターの展望と役割】

商品展示 : フランスベッド商品展示 ベッド・車いす・医療機器

懇親会 : 京王プラザホテル

参加者 : 医療関係者・施設関係者・訪問看護関係者・ケアマネジャー
一般の方・財団役員(理事・監事・評議員・顧問)

広報 : ホームページ・一般紙・取引先・東京都広報紙・公衆衛生協会紙
ふれあいの輪(秋号)

ケアマネ研修会 随時開催（全国30ヶ所）インターネットによる
適宜発信

(参考) 平成23年度実施内容

秋季講習会 平成23年10月8日(土)(札幌教育文化会館)

「在宅ケアの向上を目指して」
～高齢化社会への挑戦・・・介護/看取り/楽しさ～
「基調講演」テーマ：公衆衛生の歴史

財団会長 多田羅 浩三先生

「講演第1部」テーマ：生活を支援する介護の現状と期待」

東京大学大学院 秋山 弘子 先生

「講演第2部」テーマ：在宅におけるターミナルケア

あすか山訪問看護ステーション
統括所長 平原 優美 先生

「講演代3部」テーマ：もっと楽しく！もっと自分らしく
ダイバーショナルセラピー

日本ダイバーショナルセラピー協会理事長 芹澤 隆子 先生

ケアマネ研修会（全国28ヶ所での開催）

「研修会テーマ」

- ・ 介護保険法改正におけるポイントと課題
- ・ 認知症ケアの病態
- ・ 退院調整における医療と介護の連携
- ・ ケアマネージャの役割
- ・ 福祉用具の個別支援サービス計画書のポイント
- ・ 福祉用具の取扱説明会

(3) 在宅ケアの対象となる高齢者や難病のこどもたち等への組織に対する支援助成事業(公3)

A. 「高齢者の福祉の増進を目的とする事業」

健康生きがい学会は高齢者を対象とした地域のコミュニティーを指した団体である。そのための助成支援事業を行う。

B. 「障害者若しくは生活困窮者または事故、若しくは犯罪による被害者の支援を目的とする事業」

難病のこども支援全国ネットワークは難病のこどもたちの在宅生活を目的とした啓蒙活動を行っている、そのための助成支援事業を行う。

(参考)

- ・健康生きがい学会への寄附
- ・全国難病こどもネットワークへの寄附

3. 収益目的事業について

在宅ケアに関連した、医療・看護・介護分野のニーズを捉え小冊子の発行事業

A. 季刊誌「ふれあいの輪」

- ・<発行部数> 12,650部

<配布先>

病院、保健所、地方自治体関連部署、老人施設及び在宅ケア関連施設、居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)、一般の関心の有る方。

- ・財団の研究助成・事業助成の採用事例の掲載。
- ・介護保険制度や医療保険制度の改正に伴う、変化や影響等を迅速かつ的確に掲載
- ・新しい時代にチャレンジしていく医療・福祉分野の読者の応援誌として、看護・介護のさまざまな現場や人々にスポットをあて、取材により生の声を取り上げ、親しめる情報誌を目指す。
- ・情報発信を行うシステムとしてWEBでの情報発信を行う。